

多摩市キャンパス・マネジメント・アソシエーション設立準備会 第3回 CMA 設立準備会 議事録

1. 委員会概要

- (1) 日時：令和2年10月15日（木）18：00～20：00
- (2) 場所：ココリア多摩センター 7階ココリアホール
- (3) 委員会次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 前回議事録の確認
 - (2) CMA の目指す姿、サービス提供対象について
 - 1) 事前意見のまとめの説明
 - 2) CMA の目指す姿、サービス提供対象に関する意見交換
 - (3) CMA の取組内容、役割・体制について
 - 1) CMA の事業案・スケジュール、エリアマネジメント取組事例、要求水準書の活動目標、事前意見のまとめの説明
 - 2) CMA の取組内容、役割・体制に関する意見交換
 - 3 今後の予定
 - 4 閉会

委員会議事録

(1) 前回議事録の確認

(2) CMA の目指す姿、サービス提供対象について

1) 事前意見のまとめの説明

| | |
|-----|------------------------|
| 事務局 | 「資料1 事前意見」のまとめについて、説明。 |
|-----|------------------------|

2) 意見交換

① 目指す姿

| | |
|------|---|
| 事務局 | CMA の STEP2、STEP3 におけるフィールド範囲の想定について、説明。どのような範囲設定が良いと思うか、ご意見を頂きたい。 |
| 委員 | 公園利用は前提として、令和4年度はパルテノン多摩を、令和5年度は中央図書館も加えた回遊を強化することを想定した。STEP2 までは公園内施設がフィールドとなり、STEP3 では、工事がさらに公園の方まで広がるので、全体として考えたかどうか。 |
| 委員 | 旧富澤家、パルテノン多摩、中央図書館の3か所をセットで巡る、多摩の歴史と文化を学び、体験できる仕組み（博物館で知る、図書館で学ぶ、旧富澤家で体験する）を作りたい。 |
| 委員 | 「高齢者にとっての学びなおし」、「子どもにとっての学習の入り口」の機会が、駅から近い公園という恵まれた場所に環境整備されると良い。「多摩センターの公園」と多くの方に思っただけのようなイメージがあれば、自然と人やアイデアが集まるのではないかと。「大学」というと硬いイメージではなく、「気軽に学べる場所」としての環境整備を想定している。 |
| 事務局 | ターゲットとしては、在住、在勤、在学者に限定するのか、それ以外全て来た人を対象にするのか。 |
| 委員 | 「多摩市在住、在勤、在学者」と書いたが、来街者も含んでいる。 |
| 副委員長 | 前回の会議では「市民」の捉え方に相違があったため、「市民」に限定する場合は在住、在勤、在学者と考えるべきと回答した。ただしターゲットについては、遠方や近隣からの広範な来街者が現状多いため、あえて境界を引く必要はないと考える。 |
| 事務局 | 事前意見より、STEP2 は公園の中という意見を多くいただいたが、「公園の中」について、具体的な範囲を共通認識として設定したい。 |
| 委員 | 「在勤・在学」を考えると、駅から公園のペDESTリアンデッキにわくわくさせる仕掛けが必要と考えるため、駅から見える範囲であるパルテノン大通りをエリアに含むと考える。現在の多摩センター駅利用者が、ピューロランドを目的にペDESTリアンデッキを通行していることと同様に、多摩中央公園を目的にわくわくしながらペDESTリアンデッキを通行していく利用者が増えると良い。レンガ坂でのフリーマーケットのように、休みの日に道路脇、公園の脇でイベントを行って良いのではないかと。 |
| 委員 | ペDESTリアンデッキから多摩中央公園に人が誘致されない理由の一つは、看板等の誘導施設がないこと。G.L.C の場合、ペDESTリアンデッキの階段の下に看板を2カ所に設置後、初めて人が流れるようになった。現状、駅から分断されており、様々な公開講座を行っているものの、中々そこまでたどり着けない。利用者のアクセスを誘導する仕組みがまず必要であるため、ペDESTリアンデッキをSTEP2 の段階からフィールドに含めることに賛成である。 |
| 委員 | 大妻女子大学は公園から離れてしまうが、大学がフィールドに入るか入らない |

| | |
|------|---|
| | かは別として、人を呼び込むことを考えると、エリア全体で取り組む方がインパクトが大きく、駅からのアクセスを誘導できるようなフィールドの範囲設定は重要と考える。 |
| 委員 | STEP2 は多摩中央公園をフィールドとすることが前提だと初めは考えていた。ただ、STEP2 の期間当初は、比較的大きな施設ではパルテノン多摩のみ改修工事が終わっている状態である。公園周辺の全ての改修・建設工事が完了するのはSTEP3 からであるため、活性化が期待されるのはSTEP3 からとなるのでは。STEP2 の状況で、人の「回遊」は難しく、そうするとモノレールも含めた駅からの人の流れを誘導することが重要と考えている。STEP2 と STEP3 とを分けることも難しい。 |
| 委員 | 隣の永山駅では、公共施設や病院等の複合施設「ベルブ永山」を市と協力して運営しており、恩恵を受けている。多摩センターでもそういったことを実施できないか。ペDESTリアンデッキは大きなインフラなので、どうやって活かしていくか、どのように利用者を公園の方へ誘導するかについての検討は非常に重要と考えており、新都市センター開発としても検討している。 |
| 委員 | 新図書館はレンガ坂通りに立地するが、レンガ坂は一般市民から見ると公園の中だと思われている。主な新図書館へのアクセスは、①駅～パルテノン～図書館、②駅～十字路右折～レンガ坂～図書館の2通りになると予想している。多摩中央公園の多様な要素（G.L.Cの「緑」、図書館の「学び」、パルテノン多摩の「芸術」等）と連携可能な商業施設（ベネッセスタードーム、イオンシネマ等）もあるため、そういったところとの連携など、STEP3 に向けてより面的に捉えていってもいいのではと考えている。 |
| 委員長 | → 道路もフィールドとして活用する場合、「日常的な賑わい創出」を考えると、道路管理者や警察（道路交通）との調整も必要となる。将来的には、そういった調整に時間がかかることも考慮した、範囲の広げ方の検討が必要。今後の社会実験についてもCMAの中でも検討されていくと思うので、それを念頭に範囲を広げること考えていただきたい。 |
| 事務局 | （まとめ）ペDESTリアンデッキやレンガ坂など、動線となる部分はSTEP2でも含め、STEP3で周辺の商業施設等も含めた範囲の拡大を検討する。 |
| 副委員長 | 元々「多摩センター地区全体の更なる活性化」が最終目標として求められているため、「多摩センター地区」の範囲を明確にすることが必要。加藤氏に伺うが、多摩センター地区連絡協議会において、明確な範囲の設定はあるか。 |
| 委員 | → 正会員は、「多摩センター地区に立地する企業」を条件としている。駅の南側に限らず、駅の北側に立地する企業も加入している。 |
| 委員 | → 北側も含まれていくというような、「多摩センター地区」の範囲の定義を明確にした上で、将来目標を決めていく必要があるのではと考えている。 |

② サービスの提供対象

| | |
|------|---|
| 委員 | 「在住・在勤・在学者」と答えたが、「来街者」も含めて想定している。 |
| 副委員長 | ターゲットは市外のパルテノンの利用者も含めた、広範囲に設定することが良いと考えている。 |
| 事務局 | (まとめ) できるだけ広範囲な対象をターゲットとして設定する。 |

(3) CMA の取組内容、役割・体制について

1) -1 : CMA の事業案・スケジュール

| | |
|----|------------------|
| 委員 | CMA の事業案について、説明。 |
|----|------------------|

1) -2 : エリアマネジメント取組事例

| | |
|-----|--------------------|
| 事務局 | 地域サークル活動「ソシオ」の事例紹介 |
|-----|--------------------|

1) -3 : 要求水準書の活動目標

| | |
|-----|---|
| 事務局 | CMA の活動目標と、Park-PFI を活用した活動の求め方について、説明。 |
|-----|---|

2) CMA の取組内容、役割・体制に関する意見交換

| | |
|------|---|
| 委員 | 桜美林大学は特殊な専門の学科なので協力できるかは不明だが、学生の公園での活動への参加は限定的になる可能性はあるが、可能と考える。 |
| 委員 | 現在の図書館では、読書活動をしている団体には無償で部屋貸ししているが、有償での部屋貸しはしていない。パルテノン多摩では有償の部屋貸しを行っている。「学び」を応援したい気持ちはあるが、サークル活動の支援等を想定した時に、施設間で用意できる環境の条件（有償か無償か）が異なってしまうことが懸念される。場所によって値段設定が異なる。 |
| 委員 | 多摩中央公園の中にコミュニティガーデン（貸農園ではない）を作り、多様な市民が利用する取り組みを実施できれば、人が回遊する一つのきっかけになる。 |
| 委員 | 大学に当てはめると、学園祭という目標があって、それに向かって活動しているという1年周期の流れが構成されている。同様に、公園の中でお祭りが定期的で開催されている、という状況があると良い。そのためには、サークルの活動場所が必要となるため、大学としては、その活動場所の提供などの支援ができるのではないかと考える。 |
| 委員 | 組織図の中の「市民団体」をもう少し具体的に切り分け、位置付けを整理してほしい。 |
| 委員 | G.L.C 運営者としても、どう自己評価し、フィードバックしていくかは、常々検討している。STEP2 では、各施設の事業報告書の内容を互いに報告・共有し、どういった活動が成功しているか等の分析をした上で、STEP3 でその課題等を踏まえ具体的な活動を実施していくとよいのでは。 |
| 委員 | パルテノン多摩4階のこどもの広場は、今回の改修により、サークル活動のフィールドのような機能を持つ場所（多様な人に開かれた、賑わいを創出する場所）となることを想定している。子どもの広場としても、CMA の各施設と連携したイベント等を検討している。中央公園を屋外空間として利用するなどの連携をしていければと考えている。 |
| 委員代理 | G.L.C の一つの要素である「知」をきっかけ、図書館と連携していきたい。その他の施設についても、各主体が連携していくことで賑わいや価値が創出されると考えており、G.L.C としても積極的に連携していきたい。 |
| 委員代理 | 公園管理者としての意見では、Park-PFI 事業者は何の役割を頑張ってもらいたいのか、という部分について、CMA として共通認識を持っていきたい。 |

| | |
|----|--|
| 委員 | サークル立ち上げのきっかけづくりなど、CMA 活動の発案のきっかけは CMA 事務局（Park-PFI 事業者）に担って頂きたい。中心の「場」の提供はパルテノン多摩とし、大学がサテライトを用意するようなイメージが良い。なお、施設間連携のコーディネートが非常に重要であり、Park-PFI 事業者の能力によって CMA 活動のレベルが変わってしまうことが懸念される。 |
|----|--|